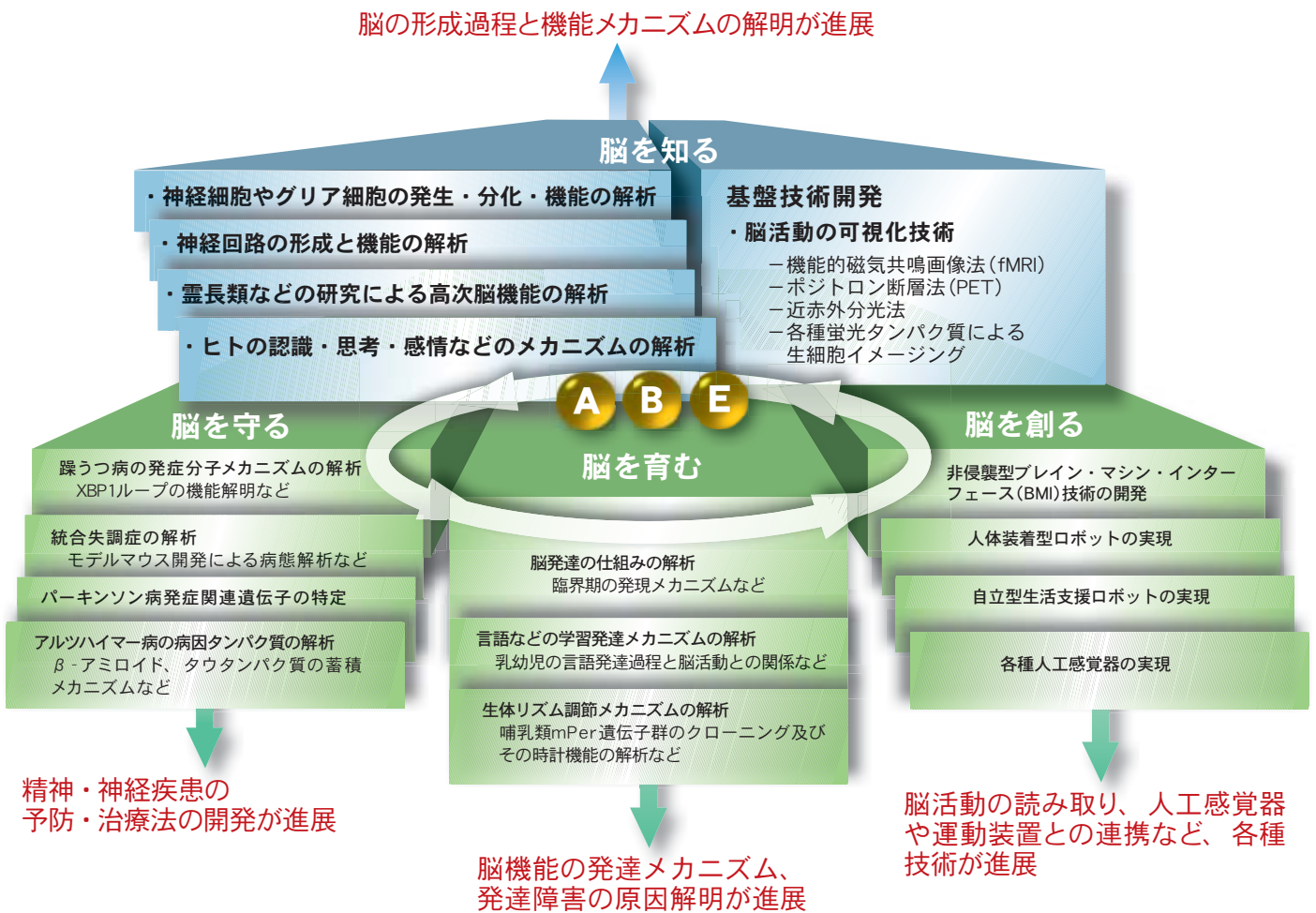


脳機能の解明を基盤として、精神・神経疾患メカニズム、脳の発達要因の解明をはじめ、人体装着型ロボット技術の進展に至るまで、様々な成果が得られつつあります。国は、関連分野を統合し、脳科学研究として戦略的に推進しています。

## 成果とその経緯

脳の構造と機能についての知見を深めることは、私たちの世界観や価値観に影響する最も基本的な真理探究活動の一つです。多様化・複雑化する社会の中で、精神・神経疾患や心に問題を抱える人が増加しています。このような社会問題の解決のためにも、脳科学の研究は重要です。医療・福祉の向上や、乳幼児の保育や教育が直面している問題解決、情報処理システムや介護支援・産業用ロボットへの応用などへの貢献も期待されています。



## 主な政府の支援

### 戦略策定による長期展望の提示 A

- ・研究開発戦略を明示し、日本全体として総合的に研究を推進させた  
文部科学省「脳科学研究ルネッサンスー新たな発展に向けた推進戦略の提言ー」（2006年）  
文部科学省「長期的展望に立つ脳科学研究の基本的構想及び推進方策について（第一次答申案）」（2009年）

### 集中的な研究資金投資 B

- ・科学研究費補助金（2007年度、生物系分野で約62億円）による学術研究推進
- ・（独）科学技術振興機構（JST）戦略的創造研究推進事業（2007年度、約23億円）による目標志向型の基礎研究推進

### 専門拠点・体制の設置による研究推進 E

- ・（独）理化学研究所 脳科学総合研究センター（BSI）を設立し、研究を進めている（1997年設立、その後年間100億円規模の予算で運営維持・活用）

政府支援の分類 A ・将来戦略の立案・策定 B ・研究開発への資金投資 C ・社会制度の策定・整備 D ・市場・産業の創造・拡大補助 E ・最先端な連携拠点の形成・活用・維持 F ・人材の育成・確保・創造